

I. 熊本地震の被害と対応

1 地震の概要

【最大前震】 4月14日（木）21時26分

マグニチュード6.5

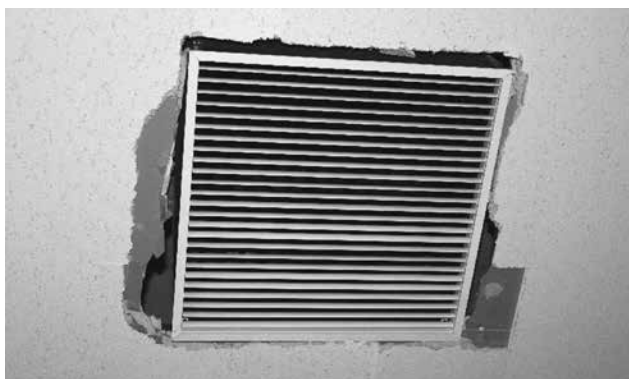
震度6弱（熊本市南区）

※資料館所在地の南区域南町では、15日午前0時3分にも震度6弱を記録した。

【本震】 4月16日（土）1時25分

マグニチュード7.3

震度6強（熊本市南区）



空調機ダクト脱落



2階展示室縦ケース損壊



収蔵棚固定金具損壊

2

熊本地震による塚原歴史民俗資料館設備・什器類の被害

1) 建物内

展示室等：空調送排風機脱落、天井部破損、火災感知器破損、展示室縦ケース倒壊破損14台、ジオラマ一部損壊

収蔵庫：収蔵棚固定金具破損、照明器具脱落

2) 建物外：玄関前アスファルト亀裂、建物周囲の壁破損、屋外トイレ間知石周辺破損

これらの復旧に当たっては、文部科学省「公立社会教育施設復旧補助金」を申請予定である。



玄関前アスファルト亀裂



東側通用口亀裂



屋外便所東コンクリート亀裂

3 所蔵資料の被害

塚原歴史民俗資料館には、考古・民俗・歴史の3展示室と収集資料を保管する収蔵庫を有する。資料の破損状況は、以下の通りである。

(1) 展示室

【考古】展示ケースの倒壊等により、ケース内の土器が破損した。重要文化財の『台付舟形土器』は、前震の後いち早く避難させ無事であった。

【民俗】展示資料に大きな破損等はなかった。

【歴史】壁のパネル2点がずれ落ちたのみであった。県指定重要文化財「馬頭観音立像」は、前震の後いち早く避難させ無事であった。



落下したコンテナ



倒壊した高床倉庫模型

(2) 収蔵庫

本館2階にあり、収蔵棚の資料、コンテナが滑落した。

【考古】収納棚のコンテナ及び実物資料が落下し保管していた土器・石器等が散乱した。担当学芸員が継続的に回収作業を実施している。

【民俗】収納棚に保管していた民俗資料が滑落し、寺駕籠の他、甕・醤油甕等の陶器類等が破損した。



破損した甕棺



破損した大甕

【歴史】コンテナ及び古文書収納箱に入れて収納棚に保管していた古書籍や古文書が落下し、散乱した。担当学芸員が継続的に回収作業を行っているが、資料の破損はなく、特定も可能である。



落下し散乱した古書籍

被災資料片付け作業

今回の地震では、幸い建物への被害は少なかったが、2階展示室及び収蔵庫が被害に遭った。

まず展示室の片づけから着手し、倒壊した展示ケースのガラス片・部品の回収や散逸した資料の収集にあたった。破損資料については、現在修復中で

ある。

収蔵庫においては、収蔵棚から落下したコンテナや床上に散乱した大量の土器破片等で、収蔵棚間の通路も塞がってしまった。

地震直後に現場の被災状況を確認し、落下前の棚が特定できる民俗資料・冊子类から片付けにとりかかった。熊本博物館学芸員の協力もあり、現在まで、60%の資料を整理することができた。考古資料については、個体や保管されていたコンテナが特定できるものから収集を行い、修復可能なものに関しては、修復を行っている。

資料を被災前の収納状況に戻し、なおかつ今後の地震で同じような散乱状況を引き起こさないために、熊本博物館と同様、以下の作業手順で行うこととした。

- ①特定できる固体資料及びコンテナを戻す・散乱した土器を回収する。
- ②収蔵棚毎にコンテナ搬出、ラベル（遺跡名等）と中身を照合。
- ③土器・石器等をビニール袋に入れる。箱内で分類があれば分けて収納。
- ④（コンテナにラベル貼付がない場合は）ラベルに情報を記入し貼付する。
- ⑤収蔵棚にコンテナを戻す（コンテナは番号順に並べ替えて保管）。
- ⑥収蔵棚1台につき「収蔵庫カルテ」1枚を記入する。
- ⑦コンテナ毎のラベル情報を「収蔵庫保管場所一覧表」に記入する。



展示室：資料展示作業状況



収蔵庫：滑落した資料の整理作業



滑落したコンテナの取り出し



取り出した資料の整理



整理した資料の収納

II. 概要

熊本市塚原歴史民俗資料館は、館名のとおり史跡塚原古墳群に隣接しており、同史跡のガイダンス施設の役割も果たしている。

館内には、塚原古墳群からの出土資料をはじめ、城南町時代に収集された数万点にのぼる考古・歴史・民俗分野の資料を収蔵展示している。主な展示物には、重要文化財の台付舟形土器、県指定重要文化財の千々屋寺の馬頭観音立像や国指定史跡阿高・黒橋貝塚、御領貝塚出土の資料、県内最古の旧石器（沈目遺跡）、貴重な弥生時代の青銅器（新御堂遺跡）、県内最古の寺院跡陳内廃寺の出土瓦等がある。また考古学史を語る上で重要な小林久雄氏収集の資料（通称小林久雄コレクション）を収蔵展示している。

（1）熊本市塚原歴史民俗資料館のあゆみ

-
- 昭和49年12月 日本道路公団・文化庁・熊本県・城南町の四者協定により資料館建設の方針決定。
- 昭和51年12月 塚原古墳群国指定史跡となる。
- 昭和54年3月 『塚原古墳群管理計画書』により、資料館にかかる基本計画を策定。
- 昭和56年4月 城南町歴史民俗資料館建設準備委員会発足。
- 昭和56年7月 建設予定地発掘調査。
- 昭和57年9月 城南町歴史民俗資料館の建設に着工。
- 昭和58年3月 城南町歴史民俗資料館が竣工。
- 昭和58年11月 城南町歴史民俗資料館が開館。
- 平成2年 資料館敷地内に古代祭再現石造群設置。
- 平成3年 資料館敷地内に竪穴住居・高床倉庫模型設置。
- 平成22年3月 合併により熊本市塚原歴史民俗資料館と改名。
-



資料館全景



考古展示室

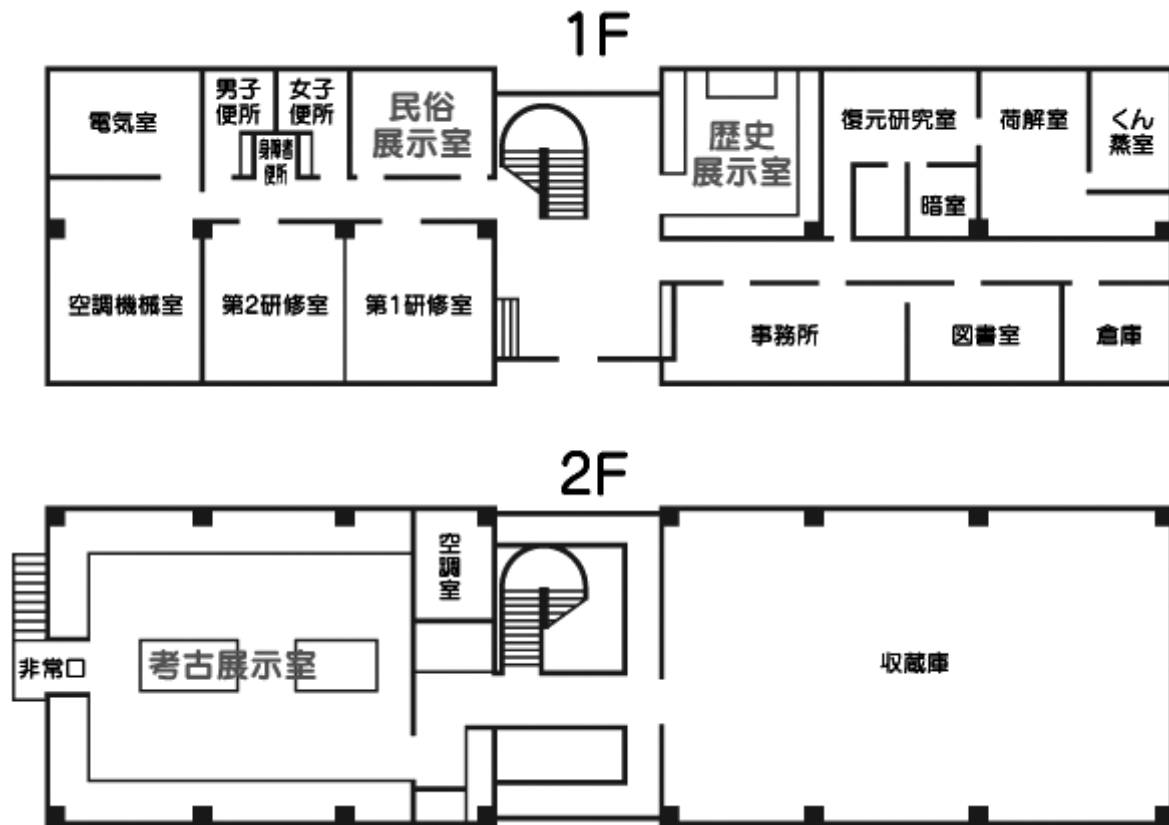


民俗展示室



歴史展示室

塚原歴史民俗資料館概要図



● 熊本市塚原歴史民俗資料館施設面積

敷地面積	7,301㎡	延床面積	1,387㎡
建築面積	890㎡	展示室面積	351㎡
考古展示室	280㎡	事務所	43㎡
歴史展示室	43㎡	倉庫	14㎡
民俗展示室	28㎡	荷解室	21㎡
収蔵庫	306㎡	機械電気室	87㎡
研修室	87㎡	ロビー	87㎡
図書室	28㎡	便所	28㎡
復元研修室	43㎡	その他	275㎡
燻蒸室	17㎡		
●構造	鉄筋コンクリート2階建て		
●事業費	324,718千円		
	※復元研究室には、器具室・暗室を含む		

Ⅲ. 学芸活動

1 教育普及

(1) 教室・講座

ア 歴史民俗資料館古文書講座

受講年齢制限なしの通年の講座。月1回第3日曜日に開催。今年度も昨年度に引き続き、熊本史学会会員の花岡興史氏に「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」のテーマで講義をいただいた。複数年にわたって受講が可能なため、開講当初からの参加者も多い。

- 4.19 記念講演「熊本城のセキュリティ」
熊本地震のため中止
- 5.15 「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 31名
- 6.19 「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 28名
- 7.24 「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 31名
- 8.21 「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 25名
- 9.18 「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 27名
- 10.16 「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 26名
- 12.25 「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 25名
- 1.15 「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 27名
- 2.19 「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 29名
- 3.19 記念講演「熊本城のセキュリティ」 25名

イ 歴史民俗資料館考古学講座

年齢制限なしの通年の講座。当館学芸員が講師となり月1回第1日曜日に開催。原始から古代を中心に各回テーマを設定して講義を行った。また熊本市文化振興課の職員2名にそれぞれの研究分野について講義をお願いした。

- 4.19 記念講演「熊本城のセキュリティ」
熊本地震のため中止
- 6.12 「地下に歴史を掘る」 21名
- 7.3 「先人が残したもの」 21名
- 8.7 「石造物が語る寛政大津波」 22名
- 9.25 「火の国掘って出し」 18名
- 10.23 「南区城南町を歩く」(散策) 17名
- 12.11 「弥生時代の新知見」 18名
- 1.8 「酒と器の歴史Ⅱ」 16名
- 2.12 「貝塚から見つかる動物あれこれ」 19名
- 3.19 記念講演「熊本城のセキュリティ」 15名



考古学講座 (講座風景)

ウ 夏だ!!わくわく古代体験教室

歴史や考古学の楽しさを教えるために、小学校4～6年生を対象に夏休みに3日間開催。3日とも違ったメニューを用意して行った。

- 8.11 勾玉作りと火おこし体験
蠟石を使った勾玉づくりと舞錐を使った火おこし
参加者 14名
- 8.12 巴形銅器作りと火おこし体験
シリコン鋳型を使った巴形銅器レプリカ作りと舞錐を使った火おこし
参加者 19名
- 8.13 28土器作りと火おこし体験
土器作りと舞錐を使った火おこし
参加者 24名



火おこし体験

エ 学芸員と歩く野外博物館

年齢制限なしの教室。塚原歴史民俗資料館の館内見学と同館周辺に自生する野草や遺跡の観察を行う講座。植物及び考古担当学芸員が案内役。

日 時 4月3日(日)、11月3日(木・祝)

参加者 9名



学芸員と歩く野外博物館

オ 土器修復体験講座

バックヤード体験講座。本館で作成した土器を使って、接合や石膏入れなどのバックヤードの作業を体験してもらう講座。参加者は、なれない作業に四苦八苦しながらも楽しんでいただいていたようだった。

日 時 6月26日(日)、7月10日(日)

参加者 30名

カ 拓本講座

一般成人を対象とした講座。館内に収蔵している土器・古瓦の他、板碑の拓本作りに挑戦した。

墨打から裏打までを行うことにより、文化財への関心を深めるとともにその愛護心の高揚を図ることを目的としている。

日 時 9月13日(日) 土器・古瓦の拓本(墨打)

9月21日(日) 板碑の拓本(墨打)

9月22日(火・祝) 裏打ち

参加者 6名



拓本講座

キ 土器作り講座

塚原歴史民俗資料館に収蔵している土器をモデルに、各自思い思いの土器を作成。焼成は、タイ式の土器焼成法で実施。天候もよく、参加者は焼き上がった作品に満足げだった。

日 時 10月9日(日) 土器の成形

11月6日(日) 土器の焼成

参加者 35名



土器作り講座

ク 編布体験教室

復元した縄文時代の編機での編物体験。

日 時 12月23日(金・祝)

参加者 8名

ケ 巴形銅器作り教室

シリコン鋳型に低融点合金を流し込み、巴形銅器のレプリカを作る体験教室

日時 1月29日(日)

参加者 6名

コ 古代織教室

原始機を使った織物教室

日時 2月26日(日)

参加者 4名



河内温泉子ども会(勾玉づくり)

サ 館外活動

6.28 中島小学校6年生

「出前講座-勾玉づくり-」

参加者 36名

7.17 熊本市城南児童館

「体験学習-勾玉づくり-」

参加者 30名

7.24 大江小学校4年生

「出前講座-勾玉づくり-」

参加者 25名

9.26 きゅーはく女子考古学部

11.12 「体験講座-土器作り-」

参加者 60名

10.22 日吉東小学校5年生と保護者

「体験学習-勾玉づくり-」

参加者 100名

10.30 小島小学校5年生

「体験学習-勾玉づくり-」

参加者 30名

3.18 河内町温泉子ども会

「出前講座-勾玉作り-」

参加者 19名

11.20 人吉城歴史館特別展記念講演

演題「実録弥生時代」

参加者 29名

1.19 熊本大学博物館課程講義

講義内容「埋蔵文化財の保存」

参加者 60名

シ その他の教育普及活動(館内で実施)

8.17 学校教育課初任者研修

「講義-南区城南町の文化財-」

参加者 137名

9.16 フレンドリー

「体験学習-勾玉づくり-」

参加者 22名

ス 博物館実習生の受け入れ

28年度は、熊本大学から1名を受け入れた。

8月21日(日)~27(土)6日間、博物館活動について指導を行った。詳細は以下の通りである。

8.21 受入式

講義 熊本市塚原歴史民俗資料館について

オリエンテーション

企画展展示案作成(基本構想)

8.23 収蔵資料整理(写真撮影)

企画展展示案作成(基本計画)

8.24 収蔵資料整理・パソコン入力

企画展展示案作成(実施計画=展示品選び出し等)

8.25 収蔵資料整理・パソコン入力

展示会用ポスター作成

8.26 展示会用ポスター・パンフレット作成

8.27 展示案発表

博物館活動について(意見交換)

実習報告書作成

2

収集保存

(1) 資料の寄贈

11.21 教育勅語（額入り）1点 お針の友1点
寄贈者 小山 正子

(2) 資料の利用

ア 資料の貸出

9.8～12.11 新御堂遺跡出土弥生土器11点（丹塗長頸壺3点 丹塗短頸壺1点 ジョッキ形土器1点 器台2点 大型器台1点 台付甕1点 免田式無形壺1点 丹塗長頸壺（袋状口縁）1点

人吉市歴史文化課

10.29～3.20 弥生土器レプリカ8点 体験学習用道具各一式（舞錐 原始機 編布 勾玉 巴形銅器鑄型他各1点）

熊本県伝統工芸館



丹塗長頸壺（袋状口縁）

イ 資料特別利用

9.8 新御堂遺跡出土弥生土器11点（丹塗長頸壺3点 丹塗短頸壺1点 ジョッキ形土器1点 器台2点 大型器台1点 台付甕1点 免田式無形壺1点 丹塗長頸壺（袋状口縁）1点 人吉市歴史文化課

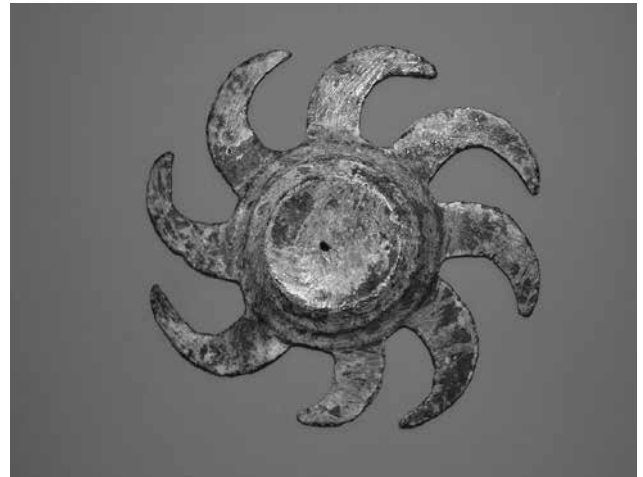
10.29 弥生土器レプリカ8点 体験学習用道具各一式（舞錐 原始機 編布 勾玉 巴形銅器鑄型他）熊本県伝統工芸館

11.15 新御堂遺跡出土資料（弥生土器7点 鏡（仿

製）1点 巴形銅器1点 大泉五十1点 貨泉1点） 迎原西遺跡出土資料（弥生土器2点） 熊本県伝統工芸館

11.15 沈目遺跡出土石器写真1点
沖縄県立博物館

12.13 巴形銅器写真1点
小学館クリエイティブ



巴形銅器

(3) 資料の燻蒸

3.21～3.22 業者委託により、収蔵室のガス燻蒸を実施した。使用薬剤は、ミラクンGX



ガス燻蒸（投薬状況）

平成28年度熊本市塚原歴史民俗資料館入館者数

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一 般	大人	34													34
	小人	4													4
団 体	大人	37													37
	小人	0													0
計		75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75

休館中につき利用なし

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
免 除	大人	41													41
	小人	9													9
	小・中・ 学生	16													16
計		66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66

休館中につき利用なし

合 計	141	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	141
--------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----